

令和2年3月23日

新潟市医師会理事 荻荘則幸

新型コロナウイルス（COVID-19）が出ました（経験談その2）

3月14日（土）に当法人が経営する「楽しいちデイサービス」において新型コロナウイルス（以下、コロナ）感染が分かり、利用者、職員が感染していました。その後の対処（職員、利用者）について

1 保健所への報告

接触から14日間経ていれば、「健康調査」と「経過観察」のみ。
14日間経過していない場合は、以下の対応となります。

2 保健所からの指示（濃厚接触者の調査）

基準は厚生労働省のHP（Q&A）を参照してください。

（1）リスト作成（職員と利用者全て）

- ・名前
- ・生年月日
- ・職種
- ・住所等の労働者名簿の提出
- ・自家用車の車種、ナンバー、色
- ・接触日の動向

（2）PCR検査

- ・（1）のリストにより、保健所が選定。連絡が個々に来る。
しかし、医療従事者の場合、特例的に希望があれば優先的に実施される事もある。
感度が50～70%らしいので、この検査の意味は（？）
特に（-）でも、2回続けて（-）にならないと「無罪放免」にならない。
（-）と言われても感染していないとは言えない。
- ・医療機関の場合、可能であれば自院にもキット、防護服セット（PPC）が搬入され、自院で検体採取が可能である。
- ・その他の場合、保健所に時間を指定され、新潟市急患診療センターの駐車場にて待機。
ドライブスルー方式で、順番に検体を採取される
- ・結果は、【新潟市】の場合、検体が多く、検査時間からの報告は（保健所経由で）午前中に出た検体は、午後8時から10時に結果判明の電話がくる。

【新潟県】の場合は、午後3時頃に判明した。

(3) 環境調査

施設の図面の提出と、消毒方法についての現地での確認がなされる。

(4) 二次感染について

職員が(+)の場合

- ・再度(1)に戻る
- ・陽性の職員は、翌日に指定医療機関に措置入院となる。1から2週間を経て、二度のPCR検査で(-)にならないと退院できない。
- ・職員の休業に対しての所得保障等の対処(厚生労働省HP参照)
- ・職員の家族の二次感染による影響
- ・隔離された職員への精神的ケア
自分が原因となって多くの人に迷惑をかけたと悩む。
朝・晩の定期的な電話連絡を行った。

3 社会的責任とマスコミ対応

まず、「営業停止する必要はない」と言われたが、感染者が最後に利用した日から14日目にあたる3月20日(金)まで「自主休業」とした。

事業所(法人等)が悪い訳ではないが、「明日は我が身」だと思う。ここで、保健所は、利用者、職員がきちんと特定されている医療機関、福祉施設は、社会的影響を考え、自ら公表する必要はないとしているが、私は、ある程度のやるべき事を終えた時点で、判明してから3日目の午後5時に法人のHPに発表した。

その後、やはり、HPはチェックされているらしく、午後6時頃からマスコミ各社から電話が相次いだ。4日目の朝には、複数の取材クルーが当施設に来て、動画を撮影していき、お昼のニュースに「医療法人らぼーる新潟」が経営する江南区の「楽しいちデイサービス」におけるコロナの感染は瞬く間に報道された。

ここからは、利用者のケアマネ、家族、家族と関係する企業や、利用されている施設からの電話が多くかかってきた。しかし、中には、励まみや、「よくぞ公表してくれた」という電話も多々あった。

その後、3月20日(金)に県内で25例目の30代女性の方が、江南区在住、医療機関勤務と新潟市が発表したため、当院にも疑惑の目が向けられたがすぐにHPで否定した。この医療機関は、今まで自主発表していない。

m3のインターネットでのアンケート調査「感染者が出たら医療機関名は公表するか？」(開業医286人、勤務医874人)3月16日から18日の1,845人の医療関係者への結果をみると、開業医約53%、勤務医の70%は公表すべきと考えている。

私はどうせ SNS がこれだけ発達している社会で、だまって見過ごされる訳がないし、それより風評被害の方が怖いと思う。

もし、これが原因で長期間閉院するとしたら、経営破綻の危機や、職員の生活補償、地域の医療インフラの破綻、医療崩壊につながると思う。

4 最後に

3月14日より3月21日まで毎日、新潟市のコロナ感染者の発表もあり、日々の診療をしながら対処してきた私にとって心の支えは、保健所の担当者の言動でした。皆さん、明日は我が身です。当事者になると逃げたくなる気持ちも分かりますが、誠心誠意、正面から立ち向かえば、必ず光も見えます。

今後、医師会からもサポートチームのような形でお手伝い願えれば幸いです。また、措置入院で隔離された患者さんの精神的サポートも必要かと思います。